

2年連続・国内3例目 「スミツキイシガキフグ」の赤ちゃんを展示します

海遊館(大阪市港区)では、2022年4月27日(水)より、館内5階「ぎゅぎゅっとキュート」内で「スミツキイシガキフグ」の稚魚を展示します。本種の繁殖成功は国内において3例目で、海遊館では昨年引き続き2回目です。

スミツキイシガキフグはまだ飼育下での繁殖技術は確立されておらず、詳しい発達過程なども判明していない生き物です。

今回展示する稚魚は、昨年繁殖時のデータや経験を参考に、温度管理や海水の濃度調整などを行い2022年1月31日に孵化に至りました。孵化直後およそ3mmだった体長は、現在、およそ25mmにまで成長し、本種の特徴である体の棘も確認できるようになっています。



今回展示する稚魚(およそ25mm、4月19日撮影)

海遊館では、今後も本種の展示と繁殖を通じた生態解明や魅力を発信していくと共に、種の保存や環境保全に関わる様々な調査研究活動に貢献してまいります。

【担当飼育員のコメント】

昨年度のデータから、孵化に至るおおよその日数が把握できたので、去年観察できなかった孵化までの状態も記録でき、孵化する瞬間の撮影にも成功しました。また、孵化から25日目にはまだ棘が無く、小さいながらも膨らむことが分かりました。今後も観察を続けて本種の繁殖生態を明らかにしたいと思います。

■孵化した稚魚について

産卵確認日	孵化日	孵化数	大きさ	
			孵化時	4月19日時点
2022年1月22日	2022年1月31日	およそ3000匹	3mm	25mm

【本件に関するお問い合わせ先】

展示する稚魚を撮影していただけるほか、素材提供や飼育員インタビューなどが可能です。

取材をご希望の場合、事前に下記連絡先までご連絡ください。

【連絡先】海遊館 広報チーム 06-6576-5529

■展示概要

《場 所》 海遊館 5 階「ぎゅぎゅっとキュート」

《期 間》 2022 年 4 月 27 日(水)～

※生き物の状態により、予告なく変更または中止する場合がございます。

《料 金》 無料(入館料に含む)

【スミツキイシガキフグについて】

英名: Porcupine fish

学名: *Allomycterus pilatus*




ニュージーランド近辺の海域などに住むハリセンボンの仲間。英名の一部である Porcupine はヤマアラシを意味しており、その名の通り体表にはうろこが変形してできた棘を多く持つ。

海遊館では 2 年連続で繁殖に成功しており、昨年誕生したスミツキイシガキフグの一部は館内「クック海峡」水槽にて飼育展示を行っています。



スミツキイシガキフグ(成魚)

【稚魚の成長過程】

	大きさ	現れた特徴	
孵化時(1月31日)	およそ 3 mm	半透明な体特徴的。 種類判別できるような特徴はまだ見られない。	
5日目(2月5日)	およそ 5 mm	緑がかった丸みのある半透明な体。 本種の特徴である棘は見られない。	
24日目(2月24日)	およそ 7 mm	体表が黒くなり、棘が生えてくるので あろう箇所が斑点模様ようになる。	
32日目(3月4日)	およそ 10 mm	体表が完全に黒くなり、本種の特徴 である棘が確認できるようになる。	